

# あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに  
くもきりむろこけひといぬうへすゑ  
アメツチホシソラヤマカハミネタニ  
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ  
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末  
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太  
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz  
mn0123456789,.,!?\*&%

38Q / 50H

或曇った冬の日暮である。私は  
横須賀発上り二等客車の隅に腰  
を下して、ぼんやり発車の笛を  
待っていた。とうに電燈のつい

22Q / 33H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀  
発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼ  
んやり発車の笛を待っていた。とうに  
電燈のついた客車の中には、珍らしく  
私の外に一人も乗客はいなかった。外  
を覗くと、うす暗いプラットフォーム

16Q / 27H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客  
車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待ってい  
た。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私  
の外に一人も乗客はいなかった。外を覗くと、うす  
暗いプラットフォームにも、今日は珍しく見送りの  
人影さえ跡を絶って、唯、檻に入られた小犬が一  
匹、時々悲しそうに、吠え立てていた。これらはそ

28Q / 33H

或曇った冬の日暮である。私は横  
須賀発上り二等客車の隅に腰を下  
して、ぼんやり発車の笛を待つ

20Q / 27H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二  
等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を  
待っていた。とうに電燈のついた客車の中には、  
珍らしく私の外に一人も乗客はいなかった。外  
を覗くと、うす暗いプラットフォームにも、今  
日は珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、

16Q / 20H

或曇った冬の日暮である。私  
は横須賀発上り二等客車の隅  
に腰を下して、ぼんやり発車  
の笛を待っていた。とうに電  
燈のついた客車の中には、珍  
らしく私の外に一人も乗客は  
いなかった。外を覗くと、う  
す暗いプラットフォームにも、